

平成22年度公共事業評価結果(事後評価)をお知らせします

長野県では、工事完了後一定期間を経過した公共事業の効果の発現状況や、改善措置の必要性などを検証する事後評価を、平成16年度から実施しています。

平成22年度は、県が事業を実施した21事業21箇所の評価を行いました。評価結果は今後の同種事業の計画・調査のあり方の検討などに活用していきます。

1. 評価対象事業及び箇所

- 評価対象事業は、環境部、農政部、林務部、建設部が所管する公共事業
- 評価対象箇所は、事業完了後一定期間(5年を基本)を経過した箇所で、1事業につき1箇所を実施

2. 評価結果の概要

- 事業効果の発現状況については、全ての箇所で事業の目的を「達成」していました。
- 施設の維持管理状況については、全ての箇所で適切な維持管理が行われていました。
- 住民アンケートによる地域住民等の評価(工事の必要性、税金使用の納得度、地域社会にとっての重要性、工事結果の満足度)については、約7割の箇所が「高い」との評価でした。
- 改善措置については、街路樹の手入れに関し、安全な視界を確保するため、小規模な改善の必要性が認められました。今後、地域住民の方々との協議しながら、対応を検討していく予定です。

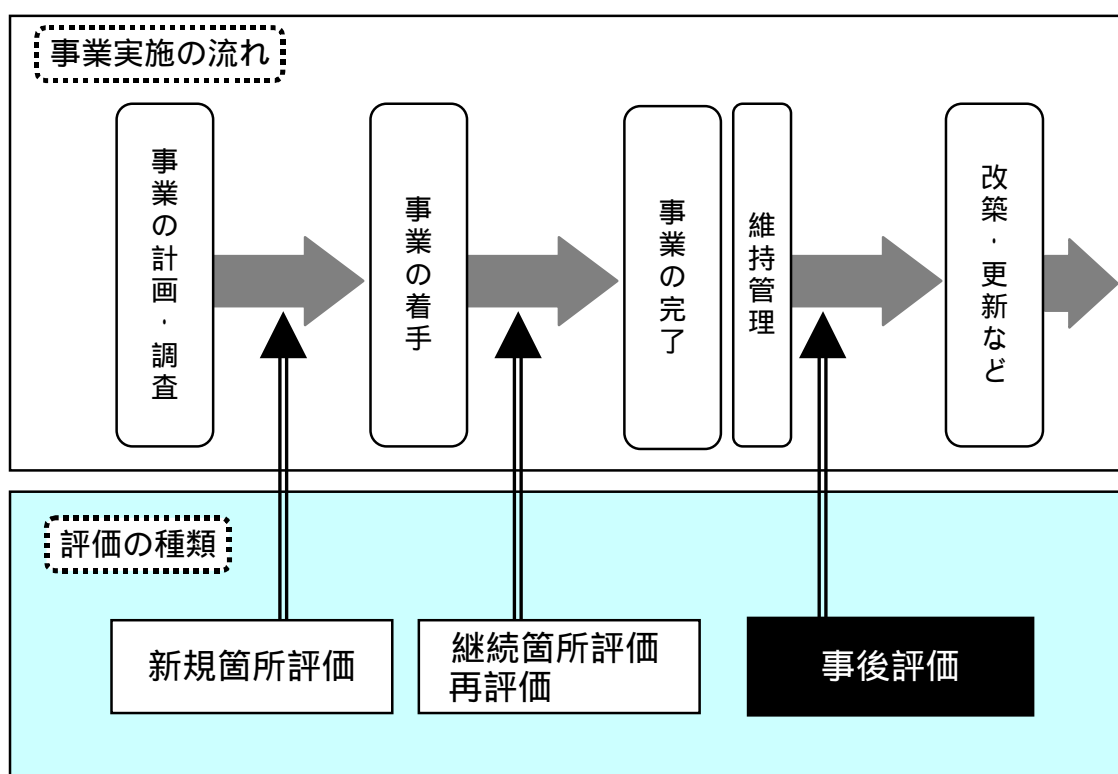
評価の観点	評価結果							
	部				政策評価課			
	S	A	B	C	S	A	B	C
事業効果の発現状況	1	20	-	-	1	20	-	-
事業実施に伴う自然環境の変化	1	9	11	-	1	9	11	-
施設の維持管理状況	4	17	-	-	4	17	-	-
地域住民等の評価		15	6	-		15	6	-
改善措置の必要性		20	1	-		20	1	-
事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況*		3	4			3	4	

*:貢献状況が特にない場合は、評価の対象とはしていません。

< 評価ランクの基準 >

- ・事業効果の発現状況 S: 目的を超えた達成 A: 達成した B: 概ね達成 C: 達成したとはいえない
- ・事業実施に伴う自然環境の変化 S: 環境が良くなった A: 影響なし B: 影響あり C: 影響が大きい
- ・施設の維持管理状況 S: 地域の人たちの参加あり A: 適切にされている B: やや不十分 C: 適切にされていない
- ・地域住民等の評価 A: 評価が高い B: 中程度の評価 C: 評価が低い
- ・改善措置の必要性 A: 改善の必要なし B: 小規模な改善が必要 C: 大規模な改善が必要
- ・事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況 A: 貢献度が高い B: 貢献している

3. 事後評価の位置づけ



4. 長野県の事後評価方法の特徴

- ・ 事業担当部による評価に加えて、政策評価課が現地調査を踏まえた評価を実施
- ・ 評価の観点は一事業で統一
- ・ 全箇所住民アンケート調査を実施し、評価に反映

5. 評価結果の公表

評価資料(評価結果一覧表、評価シート、写真、アンケート結果)は、長野県公式ホームページ(http://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/hyouka/top_koukyou.htm)、県庁行政情報センター及び各合同庁舎行政情報コーナーでご覧いただけます。

企画部 政策評価課
(課長) 土屋嘉宏
(担当) 青木謙通 松田 仁 高林栄治
TEL. 代表 026(232)0111 内線 3723
直通 026(235)7020
FAX. 026(235)7471
E-mail: seisaku-hyoka@pref.nagano.lg.jp